



平成19年4月25日

各 位

会 社 名 石塚硝子株式会社  
代 表 者 取締役社長 山中 昭廣  
(コード番号 5204 東証・名証第一部)  
問 合 せ 先 管理本部経営企画部長  
大橋 茂夫  
電 話 番 号 0587-37-3145

### 新「中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社は、今年度(第73期)から創業190周年を迎える平成22年3月期(第75期)までの3カ年を対象期間とする中期経営計画を策定致しましたので、お知らせ致します。

#### 記

1. 名 称 『石塚硝子グループ中期経営計画』  
(ISHIZUKA・ステップアップ 75)  
当社は平成22年11月に190周年を迎えます。200周年に向けてステップアップを目指す計画としてネーミング致しました。
2. 経営理念  
社 是 誠実 努力 創造  
経営理念 1.“信用第一”に心がけ、グループ企業内外の信頼を得る。  
2.“企業は人なり”の理念で、人材の育成に努める。  
3.“最高の品質”を求め、絶えず新技術を開発する。  
4.“革新と創造”に満ちた持続的な発展を続け、社会に貢献する。
3. 事業ドメイン  
当社グループの事業は、「ガラス」「容器」のいずれかに係わる事業であり、事業を要素別に分類した事業ドメインは次の通りであります。  
(1) 容器関連事業・・・「ガラスびん」「ペットボトル・プリフォーム」「紙容器」等  
(2) ハウスウエア事業・・・「ガラス食器」等  
(3) ニューガラス事業・・・「高強度ガラス」「抗菌ガラス」等  
(4) エンジニアリング事業・・・「食品検査機器類外販事業」「PET関連機器類外販事業」「海外技術支援事業」等  
上記四つの事業ドメインを併せ持つ企業は国内において当社グループのみであり、事業相互間の協働を実践することは、当社にしか出来ない「石塚硝子らしさ」の顕現である、と考えております。
4. 基本方針  
(1) キャッシュフロー重視の姿勢を堅持することにより、財務体質の強化を更に推進し、企業構造の変革を図ってまいります。  
(2) 強い現場力の構築にとことん拘った業務運営を展開してまいります。

- (3) 業務運営のベースは人であることを再確認し、人財育成に努めます。
- (4) メーカーとして更なる飛躍を展望した新製品の上市、品質向上に資する新技術の開発を活発化させることを目的として、研究開発(R & D)への取り組みを強化します。
- (5) 企業としての社会的責任(環境対策・内部統制・リスク管理・情報管理等々)を真正面から捉え、体制整備を積極的に推進します。

**【ガラス容器関連事業】**

ガラスびんにおいては、生産体制の抜本的な見直しにより更なる品質向上と原価率の低減に努めるとともに、ハウスウエアにおいては、海外を含めた中長期生産体制の構築とコストダウン、各販売ルートでのマーケット戦略の再構築と実行を展開してまいります。

**【他素材容器関連事業】**

プラスチックは、新設した研究開発センター(R & Dセンター)の活用による得意先への積極的提案と関係強化、プラスチックカンパニーと日本パリソン株式会社との更なる一体運営によるトータルコストダウンを推進するとともに、紙容器においては、マーケットニーズに対応した生産設備体制の構築と品質改善への抜本的取り組みを推進してまいります。

**【その他の事業】**

高強度ガラス(IG-3)の供給体制の強化による販路拡大、抗菌素材(イオンピュア)の拡販と並行したポストIG-3・ポストイオンピュアの開発を促進するとともに、各種の食品検査機・小型ペットボトル成形機などの受注拡大に努めてまいります。

5. 最終年度(第75期・平成22年3月期)に目指すべき業績目標(連結)

売上高 (億円)	620
経常利益 (億円)	20
利益率 (%)	3.2

(ご参考)

第72期業績値(連結)

売上高 (億円)	597
経常利益 (億円)	13
利益率 (%)	2.3

以上